



小学5年生が「港の総合学習」を行いました！

令和4年6月17日（金）小松市立荒屋小学校の5年生33人が港の総合学習を行いました。生徒たちは2班のグループに分かれて、事務所会議室での「港の役割」の学習と港湾業務艇「わかなⅡ」に乗船し、港内の各ふ頭を見学をしました。

「港の役割」についての学習では、職員の話聞きながらいっぱいメモを取っていました。また、「わかなⅡ」に乗船しての港内見学では、無量寺ふ頭で発注済の工事で使用する「ポンプ浚渫船」、戸水ふ頭で「RORO船」、御供田ふ頭で「ガントリークレーン」を船上から眺めながら港内を回りました。

今回は地元マスコミ（テレビ局2社、新聞社1社）からの取材も行われ、記者からのインタビューで「印象に残ったことは？」という質問に対し、「防砂堤」と答えた児童がいたことから港の施設にも関心を持ってもらうことができたと感じました。

「港の総合学習」を通して、港の重要性を感じてもらえるいい機会になればと思います。



座学の様子



紙いっぱいのメモ



船内説明の様子



RORO船を眺める様子